

「RWC2019日本大会のレガシーを活用したスポーツ振興・地域活性化」(案)

(R1. 11～)

【幹事】 福岡県 人づくり・県民生活部 スポーツ振興課

【参加団体】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、山口県
九州経済連合会、九州商工会議所連合会、九州経済同友会、九州経営者協会、九州観光推進機構

目的

RWC2019日本大会を誘致し、成功させた経験やノウハウを活かし、国際イベントの開催や誘致、インバウンドの呼び込み、新たなスポーツ市場の創出等に九州一体となって取り組み、九州全体でのスポーツ振興及び地域活性化を図る。

取組内容・成果

取組方針

- ・RWC2019成功のノウハウを活かした国際イベントの誘致
- ・インバウンド拡大戦略の構築
- ・新たなスポーツ市場の創出に向けた取組み
- ・ラグビー人口の拡大とアジアとの交流によるラグビーアイランド九州の実現

期待される効果

- ・国際イベント開催を通じた地域の活性化
- ・九州・山口周遊観光客の増加
- ・スポーツ産業の活性化
- ・RWC2019で増加したラグビーファンの定着、アジアラグビーフェスタの継続開催、規模拡大

九州が一体となった取組み

(1)RWC2019成功のノウハウを活かした国際イベントの誘致

- 九州が一体となった国際スポーツ大会や合宿、国際会議等の戦略的誘致
- 協働(ソフト)と共用(ハード)による大規模大会の誘致・開催 など

<直近の九州・アジアでの国際大会>

2019年	女子ハンドボール世界選手権
2020年	ITTFジャパンオープン萩村杯
2021年	FINA世界水泳選手権
2022年	北京冬季オリンピック

(2)欧米・大洋州などへのインバウンド拡大戦略の構築

- 九州が一体となった海外プロモーションの実施
- インバウンドの行動検証結果に基づく周遊プランの構築とPR など

(3)新たなスポーツ市場の創出に向けた取組み

- スポーツと他分野(健康、食、旅行等)の融合による市場の活性化
- VR観戦やスポーツセンシングなど、IoTを活用した新たな市場の創出 など

(4)ラグビー人口の拡大とアジアとの交流によるラグビーアイランド九州の実現

- ラグビー人口の拡大
- 九州・山口地域とアジアの青少年が参加するラグビー交流大会の開催
- トップレベルのラグビー大会の九州への誘致と開催 など

今後の課題・取組み

九州が一体となり、国際イベントの誘致や新たなスポーツ市場の創出、インバウンド拡大等に取り組むため、官民での情報共有や連携といった効果的な手法を検討する。